

【鳥取地震75年パネル展】

中国地域北部の地震活動と近年の被害地震

鳥取大学工学部附属 地域安全工学センター

今年は、1943年(昭和18年)9月10日に発生した鳥取地震から75年になります。これを機に、本学で実施した1943年鳥取地震に関する調査研究をはじめ、鳥取県内の地震活動、2000年鳥取県西部地震、2016年鳥取県中部の地震など近年の被害地震、また鳥取大学での取り組みについてのパネル展示を企画しました。震災を風化させず、減災マインドを持ち続けるため、是非ともご見学頂けますようお願いいたします。

場所：鳥取大学広報センター 1階スペースB

日時：自：平成30年9月4日(火)13:00

至：平成30年9月28日(金)16:00

(初日・最終日以外の開館時間は9:00-17:00です。

また、土日祝日は休館です。)

内容

- ・ 1943年鳥取地震（概要、当時のアンケート震度分布、調査写真、被災聞き取り調査、復興過程 など）
- ・ 2000年鳥取県西部地震（概要）
- ・ 2016年鳥取県中部の地震（概要、地震動と被害、鳥取大の調査研究）
- ・ 山陰地域の地震活動
- ・ 温泉観測ネットワーク
- ・ 鳥取県内の地盤卓越周期分布 など

※予めご連絡を頂ければ、解説に参ります。

地域安全工学センター
センター長 香川敬生

電話：0857-31-5641, E-mail：kagawa@tottori-u.ac.jp

背景写真：鹿野町大工町筋の被害